

西武新宿線沿線まちづくり整備方針(鷺ノ宮駅周辺地区編)(素案)及び
西武新宿線沿線まちづくり整備方針(都立家政駅周辺地区編)(素案)の
意見交換会の開催結果等について

今年8月に作成した鷺ノ宮駅及び都立家政駅周辺地区に関するまちづくり整備方針(素案)について、10月3日～6日(計4日間)の日程で地域住民との意見交換会を開催したので、その状況について報告する。

1. 意見交換会の日時及び開催場所

令和元年10月3日(木) 19時～20時30分 鷺宮区民活動センター
令和元年10月4日(金) 19時～20時30分 中野区シルバー人材センター北部分室
令和元年10月5日(土) 14時～15時30分 中野区シルバー人材センター北部分室
令和元年10月6日(日) 14時～15時30分 鷺宮区民活動センター

2. 参加人数

令和元年10月3日(木) 53名
令和元年10月4日(金) 23名
令和元年10月5日(土) 24名
令和元年10月6日(日) 31名
合計131名

3. メール及びファクシミリ、郵送等による意見募集

募集期間: 令和元年10月3日～令和元年10月25日

意見件数 18件

4. 主な質疑・意見と回答

①鷺ノ宮駅周辺地区

	質問・意見	回答
<まちづくり整備方針について>		
1	○ 6章の「今後のまちづくりの進め方」で、ステップの記載があるが、具体	○ まちづくり整備方針策定後、駅前広場などの基盤施設の整備計画を策定

	質問・意見	回答
	的にどのように進めるのか。	し、都市計画手続きに向けた準備を進めていく。
2	○ 補助第133号線と中杉通りに挟まれた地域の住環境はどのように考えているか。	○ この地域は、第一種低層住居専用地域であるため、良好な住環境を維持するまちのルールの導入について、皆さまの意見を聞きながら進めていく。
3	○ P15の生活道路（広域避難場所へ向かう機能の強化を図る道路）と生活道路（交通の集散機能と交通利便性の向上を図る道路）の整備の〇〇表記はどこに整備するのか。現道拡幅か新設か。	○ P15の生活道路（広域避難場所へ向かう機能の強化を図る道路）は幹線道路から広域避難場所へのアクセスさせるためのもので、位置等は決まっていない。また、生活道路（交通の集散機能と交通利便性の向上を図る道路）は美鳩小学校南側の道路と、鷺宮高校の南側の道路の現道拡幅を想定している。 詳細は今後検討していく。
4	○ まちづくり整備方針に記載してある事業は、誰が事業者なのかわからないため示してほしい。	○ 今後、事業者についてわかりやすい記載とする。
<連続立体交差事業について>		
5	○ 鉄道が地下形式か高架形式かでまちづくりでやるが変わるのではないか。	○ 鉄道の構造形式によって、駅前広場の整備や延焼遮断帯といった、まちづくりに必要なものが変わるものではない。
6	○ 鉄道が地下形式になるか高架形式になるか把握しているのか。	○ 連続立体交差事業は東京都が事業主体であり、構造形式については把握していない。
7	○ 連続立体交差事業が進まないのであれば、東京都に請願などしてはどうか。	○ 区が加盟している西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟は、国、東京都、西武鉄道（株）に、毎年、要請活動を行っており、区及び地域の考えを伝えている。

	質問・意見	回答
8	○ 中井～野方間の連続立体交差事業の工事完了の目途はどのようになっているのか。	○ 東京都より、中井～野方間は今の事業期間内に完了することが厳しい状況と聞いている。
9	○ 鉄道の地下形式か高架形式を決めるのは何を基準に決めるのか。	○ 東京都より、構造形式は地形的条件、計画的条件、事業的条件から総合的に判断すると聞いている。
<道路・交通について>		
10	○ 中杉通りの歩道が狭く危険なので、是非、補助第133号線（妙正寺川以南区間）の整備を推進して欲しい。	○ 東京都建設局は補助第133号線（妙正寺川以南区間）の整備に着手しており、幅員16mの道路を設けることとしている。
11	○ 補助第133号線（妙正寺川以北区間）の道路整備は決定事項なのか。	○ 「東京都における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」に平成37年度（令和7年度）までに優先的に整備すべき路線として位置付けられている。
<その他>		
12	○ 学校再編計画で鷺宮小学校と西中野小学校はどうなるのか。	○ 現行の「新しい中野をつくる10か年計画（第3次）」では、鷺宮小学校再編後の跡地には鷺宮すこやか福祉センター、鷺宮区民活動センター、図書館、鷺宮地域事務所が移転する計画である。西中野小学校の跡地利用については未定である。
13	○ 鷺ノ宮駅から中野駅方面への直通バスを通して欲しい。	○ 今後、バス交通の拡充について検討するとともに、このような意見があったことをバス事業者に伝える。
14	○ 意見交換会に若い人が参加していない。若い人を議論に取り込んでいく方法を区として検討して欲しい。	○ 今後、若い人が参加するような方法を検討していく。
15	○ 鷺宮の顔は駅である。駅前の地権者にはまちづくりの話をしているのか。	○ 駅前広場の位置は決まっていないので、地権者に話はしていない。

	質問・意見	回答
16	○ この意見交換会のことは区議の方に説明しているのか。	○ 8月に中野区議会の建設委員会に報告している。

②都立家政駅周辺地区

	質問・意見	回答
<まちづくり整備方針について>		
1	○ 歩行者広場について、避難場所としての活用は考えていないのか。	○ 防災上の位置付けは今のところない。広場は歩行者広場で、地元のイベント等にも活用できるものと考えている。
2	○ 広場やアクセス道路の整備、連続立体交差事業が何年とか具体的なスケジュールを示すべきだ。	○ 広場へのアクセス道路の整備は連続立体交差事業にあわせて整備していく。まちづくり整備方針は来年度早い時期に策定する予定である。その後、歩行者広場や駅へのアクセス道路などの基盤施設の計画を策定した上で、都市計画手続きに向けた準備を進めていく。
3	○ 鷺ノ宮駅周辺地区や都立家政駅周辺地区の意見交換会はあるが、野方駅周辺地区の意見交換会を実施しないのか。	○ 野方駅周辺地区のまちづくり整備方針は現在作成中であり、関係機関との調整をした後、意見交換会を実施する予定である。
<道路・交通について>		
4	○ 美鳩小学校付近の道路で、消防車が曲がれない箇所があるので改善して欲しい。	○ 生活道路（交通の集散機能と交通利便性の向上を図る道路）については、現道の道路拡幅を考えているが、詳細については、今後検討していく。
5	○ 補助第227号線の妙正寺川から北側の道路整備はどうなっているのか。	○ 平成27年7月に現況測量調査を行っている。令和2年度以降、事業化を進めていきたいと考えている。

	質問・意見	回答
6	○ 現状、自動車は商店街を通っているが、歩行者の安全性については、どのように考えているのか。	○ 補助第227号線が整備されれば、車両動線がメインとなり、商店街を通行する車両が減少することが想定されるため、歩行者の安全性は向上すると考えている。
7	○ 野方や鷺宮と違って都立家政にはバス路線が無い。是非ともバスの運行をお願いしたい。	○ 都立家政には南北方向のバスが通れる道路空間が無いので、バスが通れる道路整備を行っていく。また、今後、バス交通の拡充について検討するとともに、このような意見があったことをバス事業者に伝える。
＜その他＞		
8	○ 鷺ノ宮駅と都立家政駅は駅間が近い ため、両駅周辺を一体としたまちづくりが必要である。そのため、両駅の東西に改札を設けて、鷺ノ宮駅と都立家政駅の間に広場を整備すればよいものになる。	○ 広場位置については、交通結節機能の強化や土地の状況等を考慮し、関係機関と調整し設定する。なお、このような意見があったことは東京都と西武鉄道（株）にも伝える。
9	○ 妙正寺川は50mm対策ということだが、昨今、集中豪雨の話もあるので、調節池などを作って欲しい。	○ 鷺ノ宮駅の八幡橋から妙正寺公園までの区間に約68,000m ³ の調節池の計画があると聞いている。事業主体は東京都となる。

5. 今後の予定

- ・令和2年3月 西武新宿線沿線まちづくり整備方針（案）の説明会開催
- ・令和2年4月以降 西武新宿線沿線まちづくり整備方針の策定

参考. これまでの経緯

- ・平成21年11月 西武新宿線沿線まちづくり計画策定
- ・平成28年3月 東京都の社会資本総合整備計画に西武新宿線（野方駅～井荻駅区間）の連続立体交差事業が位置付けられる
- ・平成28年3月 鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会設立
- ・平成28年9月 都立家政駅周辺地区まちづくり検討会設立

- ・平成30年4月 鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会が鷺ノ宮駅周辺地区のまちづくり構想を区へ提案
- ・平成30年7月 都立家政駅周辺地区まちづくり検討会が都立家政駅周辺地区のまちづくり構想を区へ提案
- ・令和元年10月 西武新宿線沿線まちづくり整備方針（鷺ノ宮駅周辺地区編）（素案）及び西武新宿線沿線まちづくり整備方針（都立家政駅周辺地区）（素案）の意見交換会開催